

TOWN TOPICS 2/9 第三次須恵町国土利用計画および第二次須恵町都市計画マスタープランを策定しました

国土利用計画審議会および都市計画審議会の三角会長から平松町長へ、第三次須恵町国土利用計画案および第二次須恵町都市計画マスタープラン案に対する答申書が提出されました。

第三次須恵町国土利用計画は、町土の利用に関する基本的な事項を定めたものです。令和15年を目標として健康で文化的な生活環境の確保と、町土の均衡ある発展を図ることを基本理念として行なっていきます。

第二次須恵町都市計画マスタープランは、国土利用計画に即した都市づくりの基本方針を示すものです。令和26年を目標として「水と緑と光の町 すえ ～光がさらなる光を生む、輝き続けるまち～」に向けてまちづくりを推進していきます。

両計画は、須恵町ホームページで閲覧できます。



国土利用計画審議会および都市計画審議会の三角会長(左)と平松町長(右)



第三次須恵町国土利用計画について



第二次須恵町都市計画マスタープランについて

TOWN TOPICS 3/3 多文化社会の実現に向けて

須恵高等学校書道部の皆さんに協力をいただき、町内の在留外国人10人が、初めて書道を体験しました。参加者たちは筆の使い方や墨汁に苦戦しながらも、顧問の先生や部員の皆さんの熱心な指導により段々と上達し、最後は好きな漢字を色紙に書くなど、楽しみながら一生懸命に取り組む姿が見られました。

近年、町内ではさまざまな在留資格を持つ外国人が増加しています。ふるさと応援課では、在留外国人が生活などに必要な日本語能力を身につけ、地域や社会とのコミュニケーションを図ることができるよう、令和3年度から支援事業を行なっています。



好きな漢字を書いた色紙を手に笑顔の参加者たち



須恵町外国人相談窓口 Facebook アカウント

TOWN TOPICS 3/18 月 ご寄付をいただきました

株式会社萩原商店様から、佐賀銀行の「さぎんSDGs私募債」を通じて80,000円のご寄付をいただき、須恵町役場で感謝状の贈呈を行いました。

この寄付は、SDGsの普及拡大や地域の社会的課題解決に役立つ取り組みに対し、私募債発行金額の0.2%相当額を寄付する仕組みを活用されたものです。寄付金は、将来を担う子どもたちのために有効活用されます。



株式会社萩原商店 萩原 健一様(左)と平松町長(右)

- 2 令和6年度当初予算
- 4 久我記念館
- 5 まちの話題
- 8 まちの史跡めぐり
- 10 健康診査のお知らせ・歯科健診のお知らせ
- 11 成人男性の風しん抗体検査(定期予防接種)について、須恵町LINE公式アカウント友だち募集中!
- 12 小中学生の就学援助申請受付について、コミュニティバスの料金減免証を発行しています!
- 13 職員人事
- 14 役場からのインフォメーション
- 15 若杉クラブだより、俳句・川柳
- 16 わくわくデイサロン、消費生活110番
- 17 粕屋警察署だより、みんなを守る119、商工会だより
- 18 情報いろいろ
- 20 図書館だより
- 21 ハッピーバースデー、乳幼児健診・さんさぼカレンダー
- 22 まちの情報カレンダー 休日当番医、水道指定業者 アザレアホール予定表他
- 24 5月12日は「民生委員・児童委員の日」です、若杉クラブ 第1回高齢者学級開催のお知らせ

今月の表紙 年に一度の御開扉



今月号の表紙は、佐谷建正寺で撮影した木造十一面観音立像の写真です。金色の輝きを放つ立像を前に、終始圧倒されていました。今年は会場にキッチンカーが出店しており、参拝客などで大にぎわいでした。

関連ページは6ページ

美術センター 久我記念館

企画展のご案内 月曜日休館 祝日の場合は翌日休館

入館無料 開館時間: 10時~17時 (最終入館時間は16時30分)

☎ 932-4987

江戸時代の「グッドデザイン賞」～須恵焼の高台銘～

グッドデザイン賞は公益財団法人日本デザイン振興会が主催する、毎年デザインが優れた物事に贈られる賞です。この賞は今から67年前の1957(昭和32)年に始まりましたが、それよりはるか昔の江戸時代、須恵には優れたデザインが存在しました。

江戸時代の中ごろ、今から260年前の1764(宝暦14)年に福岡藩士新藤 安平が始めたと言われる須恵焼。久我記念館に所蔵している資料に、高台(焼物の底の部分)の左端に「スエ」と書かれた焼物が残っています。右上に「ス」、左下に「エ」を配置し、「ス」の横棒と「エ」の下の横棒を伸ばして、2つの文字を組み合わせたデザインとなっています。記号のように見えますが、よく見ると須恵だと分かる素晴らしいデザインです。

本来、高台に書かれた銘文は中央に配置されることがほとんどですが、この「スエ」は左端に寄っています。同時期の有田焼にも似たような技法が使われています。須恵焼に関する文献資料には、磁器焼成を始める際に有田焼の影響を受けたことが書かれており、須恵焼と有田焼の関連性を、製品と文献資料の双方から伺うことができます。



染付菊花文水指(久我記念館蔵)



水指の高台銘「スエ」